

## 2022年度 JASO・JASO テクニカルペーパー(TP)・JIS の原案概要

### [JASO 制定：2件]

#### 01：規格名称：JASO C 306 ペダル踏み間違い時急加速抑制装置

制定の目的：

日本では世界に先駆けていち早くペダル踏み間違い時の加速抑制装置（ACPE）の普及が進んでおり、すでに90%以上の乗用車に装備されている。また、その性能試験である第三者評価もJ-NCAPの試験として2018年から実施されている。今後このACPEは世界的な普及が予想されており、国内で普及している装置の「システム要件」を世界に先駆けて規格化し、国際での基準・標準における礎とするため、JASOを制定する。

適用範囲：

この規格は、ペダル踏み間違い時急加速抑制装置の機能要件及び要件適合を確認するための試験方法について規定する。なお、この規格は、小型車に搭載された装置に適用されるもので、大型車及び二輪車などの車両カテゴリーに搭載された装置には適用されない。

規定項目：

1 適用範囲, 2 引用規格, 3 用語及び定義, 4 要件, 5 試験手順, 解説

期待効果：

今後世界に普及していく前に試験規格及び本システム規格のJASO化及びISO提案で標準を日本主導で策定することで、すでに開発済みであるペダル踏み間違い時急加速抑制装置について、日本を中心とした関連企業の優位性や産業発展に寄与することが期待できる。

#### 02：規格名称：JASO C 307 ペダル踏み間違い時急加速抑制装置試験法

制定の目的：

日本では世界に先駆けていち早くペダル踏み間違い時の加速抑制装置（ACPE）の普及が進んでおり、すでに90%以上の乗用車に装備されている。また、その性能試験である第三者評価もJ-NCAPの試験として2018年から実施されている。今後このACPEは世界的な普及が予想されており、国内で普及している装置の「性能評価試験」を世界に先駆けて規格化し、国際での基準・標準における礎とするため、JASOを制定する。

適用範囲：

ペダル踏み間違い時急加速抑制装置の加速抑制性能を評価するための試験方法について規定する。なお、本規格は小型車（light vehicles）に搭載された装置に適用されるもので、大型車や二輪車などの車両カテゴリーに搭載された装置には適用されない。

規定項目：

1 適用範囲, 2 引用規格, 3 用語及び定義, 4 試験の基本的な考え方, 5 試験条件, 6 試験方法, 7 試験結果の記録, 付録, 解説

期待効果：

今後世界に普及していく前にシステム規格及び本試験規格のJASO化及びISO提案で標準を日本主導で策定することで、すでに開発済みであるペダル踏み間違い時急加速抑制装置について、日本を中心とした関連企業の優位性や産業発展に寄与することが期待できる。

### [JASO 改正：4件]

#### 03：規格名称：JASO D 612-4 自動車部品—ヒューズ 第4部：プラグイン形(A形)及びねじ締め形(B形)大電流ヒューズ

改正の目的：

本JASOは、2018年にISO8820-4との整合する改正を行った。今回、2018年度の改正後に新規に市場導入されたヒューズを追加し最新の状態にするため改正を行った。

※ISO 8820-4 Road vehicles - Fuse-links - Part 4: Fuse-links with female contacts (type A) and bolt-in contacts (type B) and their test fixture

適用範囲：

この規格は、定格電圧32V又は58V、遮断容量1000A、かつ、定格電流150A以下の自動車用プラグイン形及びねじ締め形低電圧ヒューズについて規定する。

規定項目：

1 適用範囲, 2 引用規格, 3 用語及び定義, 4 種類及び記号, 5 定格電流及び識別, 6 要求事項, 7 試験方法, 付属書, 解説

期待効果：

本規格が整合しているISO8820-4は日本提案規格である。今回、業界ニーズを反映した電線ラインナップの最新化、また必要な試験項目、試験方法、試験条件等をISOに先駆けJASOに反映し、最適化・最新化することで、ISO提案の可能性を含め、引き続き日本がリードすることが可能となる。

#### 04：規格名称：JASO F 101 自動車部品—六角ボルト

改正の目的：

本JASOは、前回の改正（2014年）から8年が経過している。今回、引用規格の最新化、関連規格との整合化を行うとともに、市場における規格の使用実態を確認し、現状に合わせた規格内容とするため改正を行った。

適用範囲：

自動車に使用する鋼製の冷間圧造用六角ボルトについて規定する。

規定項目：

1 適用範囲, 2 引用規格, 3 用語及び定義, 4 種類, 5 機械的性質, 6 形状・寸法及び幾何公差, 7 ねじ, 8 表面状態, 9 材料及び熱処理, 10 表面処理, 11 表面性状, 12 機械的性質の試験方法, 13 検査, 14 製品の呼び方, 15 強度区分表示, 16 ボルトとナットの組合せ, 付属書, 解説

期待効果：

引用規格を最新版とすることにより、関連規格、類似規格との互換性を確保し規格活用や部品共用化の促進を図るとともに、業界ニーズを反映した電線ラインナップおよび必要な試験項目、試験方法、試験条件等を最適化・最新化をすることにより、自動車メーカー、サプライヤーの双方の経済的効果が期待できる。

## 2022年度 JASO・JASO テクニカルペーパー(TP)・JIS の原案概要

### 05：規格名称：JASO M 315 自動車-自動変速機油

改正の目的：

低粘度 ATF の普及により低品質油の耐摩耗性不足の懸念が高まってきたことを受け、耐摩耗性の基準値を設定するため改正を行った。

適用範囲：

自動車用自動変速機油について規定する。

規定項目：

1 適用範囲， 2 引用規格， 3 用語及び定義， 4 種類及び性能， 5 試験方法， 6 標準油及び標準テストピース， 解説

期待効果：

耐摩耗性の基準値を設定することにより、適切な試験法での耐摩耗性の評価が可能となり、ATF の品質向上に寄与できる。

### 06：規格名称：JASO T 903 二輪自動車-4サイクルガソリンエンジン油

改正の目的：

以下、現在の実用状態に対応させるため改正を行った。

- ・2020年に改正されたAPI規格とT 903:2016 オンファイル届出実績を反映させる
- ・大気汚染などの環境負荷を低減させるため物理化学性状に関する規格値の変更
- ・供給問題対応として摩擦特性試験に用いる比較標準油とフリクションプレート摩擦材の形状変更  
API: American Petroleum Institute

適用範囲：

二輪自動車の4サイクルガソリンエンジンに用いる4サイクルエンジン油について規定する。

規定項目：

1 適用範囲， 2 引用規格， 3 用語及び定義， 4 要求事項， 附属書， 解説

期待効果：

二輪車業界として二輪車用エンジン油の推奨指針として使用しているため、本規格を早期に改正することにより、世界的な環境性能向上・規格の利便性向上が期待できる。

## [JASO テクニカルペーパー発行：4件]

### 07：TP名称：JASO TP 23001 電子受動部品の製品/工程変更に伴う顧客への通知ガイドライン

発行の目的：

自動車用の半導体/電子部品は、昨今のCASE対応にて加速的に採用が増加しており、自動車の商品性を担う重要な部品となっている一方で、突発的な災害発生や世界規模の需給バランスの乱れに際し、自動車の生産継続には、効率的な部品切替え(PCN：製品/工程変更)が要求される。そこで、22年4月に「半導体素子の製品/工程変更に伴う顧客への通知ガイドライン(JASO-TP 22001)」を発行し、今回、電子受動部品に対する同様のガイドラインを本テクニカルペーパーとして発行する。

期待効果：

PCN手続きの業界標準ガイドラインが浸透する事により、  
・受動部品のQCDリスクの回避(需給逼迫や災害有事における早期の部品切替えの実現)  
が期待でき、結果として自動車業界全体の生産性向上に寄与する。

### 08：TP名称：JASO TP 23002 自動車用電気電子部品のEMC試験法に関するガイダンス

発行の目的：

自動車OEMと自動車部品製造者及び部品EMC試験所等の関係者間における部品EMC試験方法に関する技術的知見および品質管理の観点での運用事例を取りまとめ、解説を共有することで、部品EMC試験の運用に関する標準化を促進し、開発効率および精度向上を図る。

期待効果：

各部品EMC試験規格の設定の標準化、冗長な試験規格の適用を回避でき、EMC試験にかかわる試験工数の削減と品質の確保の開発効率の向上を図る。またEMC試験規格は、電気電子部品のハードウェアの仕様であるため、電気電子部品の標準化の促進が見込まれる。

### 09：規格名称：JASO TP 23003 LEDタイプストップランプ用ブレーキスイッチの仕様調査結果

発行の目的：

LEDストップランプに適したブレーキスイッチタイプの種類を文書化することにより、高品質な車両設計手法の参考資料とするためテクニカルペーパーを発行する。

期待効果：

特にシリコンガスによる接点障害を引き起こす場合が多く、接点障害発生のメカニズムと、LEDストップランプに適したスイッチタイプの種類を文書化することにより、高品質な車両設計手法として効果が期待できる。

### 10：規格名称：JASO TP 23004 自動車\_補機用電源システムの安全性評価手順

発行の目的：

自動車は、先進安全装備や自動運転の拡大に伴い電源の安全性がより重要になることが想定される。今後、さらなる電装負荷拡大による消費電力増加傾向を踏まえると、電源の評価・基準の共通化等の検討が必要である。そこで、電源システムの安全性について、ISO 26262を参考に評価手順を関係者間で共通化し、ガイドラインとしてテクニカルペーパーを発行する。

期待効果：

電源故障モードの考え方の差異による電源安全性の評価レベルに差異が発生する事を防ぎ、各社の開発効率向上、部品共通化によるコスト低減等の効果が期待できる。

[JIS 制定：1件]

01：規格名称：直噴ガソリン機関 — 燃料噴射装置の清浄度評価

制定の目的：

ガソリン機関における直噴化の拡大に対応した「直噴用の燃料噴射システム」は新しいシステムであるため、使用される部品について独自のものがある。この状況に鑑み、直噴ガソリン機関用燃料噴射装置に関する規格化の機運が高まり、ISOにて規格制定の取り組みが開始された。構成部品の製品仕様・取付け形状等の規格化作業と共に、噴射装置の清浄度評価に関する規格化も行われた。ディーゼル機関用と同様に、直噴ガソリン機関用燃料噴射装置でも、構成部品内に残存している異物が原因となって運転効率の低下を招くといった問題があることから、日本からもこの原案作成に積極的に協力し、2020年にISO 19724として発行された。

直噴ガソリン機関は日本でもその生産が拡大しており、このISO規格で制定された規定を日本にて広く活用していくため、その内容をJISとして新たに制定する。

適用範囲：

この規格は、直噴ガソリン機関用高圧燃料噴射装置の構成部品内部に含まれる固形異物量を求め、清浄度を評価する方法について規定する。

規定項目：

1 適用範囲、2 引用規格、3 用語および定義、4 手順、5 粒子の分析、6 評価結果の報告、附属書、解説

期待効果：

この規格によって、直噴ガソリン機関用燃料噴射装置の清浄度評価方法が統一でき、受け渡し当事者間の情報混乱を防止できると共に、合理的、効率的な開発および生産へ寄与できる。

[JIS 改正：1件]

02：規格名称：JIS D 3639 ディーゼル機関 — 燃料噴射装置の清浄度評価

改正の目的：

ディーゼル機関用燃料噴射装置は、エンジンの中で最も精密な機械部品の一つであり、エンジンに取付ける前の製品においても、構成部品内に残存している異物が原因となって、運転効率の低下を招くといった問題が懸念されている。この問題を未然に防止するために、燃料噴射装置における清浄度に関する規格化が望まれ、2002年にISO 12345として制定され、対応JISとしてJIS D 3639が2005年に制定された。今回、2021年に改正された最新のISO規格内容をJISに反映するため本JISを改正する。

適用範囲：

この規格は、ディーゼル機関用高圧燃料噴射装置の構成部品内部に含まれる固形異物量を求め、清浄度を評価する方法について規定する。

規定項目：

1 適用範囲、2 引用規格、3 用語及び定義、4 試験装置、5 手順、6 試料分析、7 結果の報告、8 成城度要求の表示、附属書、解説

期待効果：

この改正により、対応ISO 12345との整合が図られ、国内外の取引時での清浄度に関する情報混乱を防止し、ディーゼル機関用燃料噴射装置の性能・品質の維持向上に寄与できる。